

にしとみか むこうばたいせき  
西富岡・向畑遺跡

伊勢原市No.160 遺跡

調査期間 2007年4月1日～継続中  
所在地 伊勢原市西富岡  
時代 近世・中世・奈良・平安・古墳・  
縄文・旧石器  
調査原因 中日本高速道路株式会社による  
新東名高速道路建設事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査  
遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北方  
約2kmの富岡丘陵



### 主な調査成果

現在調査は継続して行われていますが、2013年10月から11区の整理作業を行っています。中世～近世の遺構としては、溝状遺構、道状遺構、土坑、ピットなどがあります。古墳時代後期～奈良・平安時代の遺構では、竪穴住居跡60軒以上、掘立柱建物跡15棟以上が見つかりました。縄文時代では中期・後期の竪穴住居跡や敷石住居跡が30軒ほど調査されています。現在は土器や石器などの遺物の洗浄作業や注記作業、竪穴住居跡などの遺構の図面やデータ類の整理、検討を行っています。そうしてまとめた整理作業の成果は報告書作成に反映させていきます。



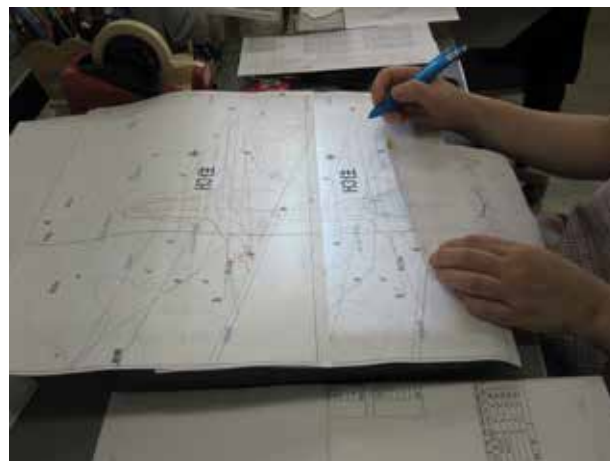
土器の洗浄作業



注記作業



土器接合作業



遺構図面の整理